

みずほCustomer Desk Report 2020/02/17 号(As of 2020/02/14)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	109.89
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	109.78	1.0842	119.04	1.3045	0.6720
SYD-NY High	109.91	1.0861	119.23	1.3063	0.6732
SYD-NY Low	109.70	1.0827	118.87	1.3001	0.6710
NY 5:00 PM	109.77	1.0831	118.90	1.3046	0.6715
NY DOW	29,398.08	▲ 25.23	日本2年債	-0.140	1.00bp
NASDAQ	9,731.18	19.21	日本10年債	-0.030	1.00bp
S&P	3,380.16	6.22	米国2年債	1.4289	▲1.59bp
日経平均	23,687.59	▲ 140.14	米国5年債	1.4168	▲2.46bp
TOPIX	1,702.87	▲ 10.21	米国10年債	1.5875	▲2.98bp
シカゴ日経先物	23,540.00	▲ 180.00	独10年債	-0.4030	▲1.40bp
ロンドンFT	7,409.13	▲ 42.90	英10年債	0.6260	▲2.20bp
DAX	13,744.21	▲ 1.22	豪10年債	1.0745	0.45bp
ハンセン指数	27,815.60	85.60	USDJPY 1M Vol	4.60	▲0.19%
上海総合	2,917.01	10.93	USDJPY 3M Vol	5.00	▲0.08%
NY金	1,586.40	7.60	USDJPY 6M Vol	5.38	▲0.05%
WTI	52.05	▲ 1.37	USDJPY 1M 25RR	-1.15	Yen Call Over
CRB指数	172.95	0.68	EURJPY 3M Vol	5.80	▲0.13%
ドルインデックス	99.12	0.06	EURJPY 6M Vol	6.13	▲0.05%

東京	東京時間のドル円は109.78レベルでオープン。ドル円は109.80を挟んで一進一退の値動き。新型コロナウイルスによる経済への影響懸念から上値が抑えられる中、中国株の反発等を受けて買いが優先になる場面もあったが、109.77レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場ドル円は材料難から小幅推移した。109.77レベルでオープン。来週月曜日17日は米国祭日となることや新規材料難から動意なく109.80レベルで終日動意薄となった。109.86レベルにてニューヨークへ渡った。ユーロドルは独を中心とした欧州景気不安から下値を試す展開となった。1.0838レベルでオープン。独10-12月期のGDP伸び率はゼロと2四半期ぶりにマイナス成長は逃れたものの成長率の鈍化が懸念されユーロは1.08台半ばで軟調地合いが続いた。1.0840レベルでニューヨークへ渡った。ポンドは強含んだ。昨日英ジャビド財務相の突然辞任に市場は一時動揺したものの後任のリス・スナク財務副大臣が就任することになったことを受け歳出拡大を強く求めるジョンソン首相の意向が反映されるのではとの市場の思惑から1.30台でしっかり推移し1.3030レベルでニューヨークへ渡った。(ロンドン・フリー 00531 444 179 西海)
ニューヨーク	海外市場のドル円は、手がかり材料が乏しい中、109.80を挟んで狭いレンジ推移し、109.86レベルでNYオープン。朝方は米小売売上高の発表がされ、1月分が予想通りだったものの、前回発表された12月分が下方修正されたことを受けて、米金利の低下とともに109.74まで下落する。その後、109.81まで反発するが、米1月鉱工業生産指数が予想を下回ると109.70まで売られる。10時発表の米2月ミシガン大学消費者マインド指数が2018年3月以来の高水準となり、ドル買いが入るも、レンジ内の上昇に留まった。米国の3連休を控える中、午後は積極的な取引が手控えられ、方向感の無い推移が続き、109.77レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは、ドイツの第4四半期GDP(速報値)が予想を下回ったものの、マイナス成長が回避された中、1.0840近辺での上値重い推移が続いた。1.0850まで買い戻される場面もあったが、欧州景気後退への懸念に圧迫され、小幅反落し、1.0840レベルでNYオープン。朝方は米金利の低下を手掛かりに1.0861まで上昇する。しかし、ユーロを買い戻す特段の手掛かり材料が見当たらない中、上昇は長続きせず、1.0833まで反落する。終盤にかけては安値模索の展開となり、1.0828まで安値を更新し、1.0831レベルでクローズする。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:大庭・大庭 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

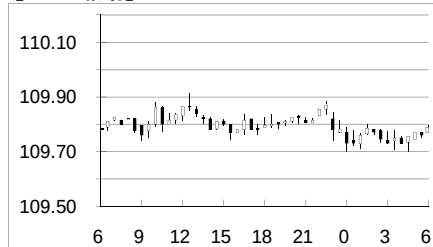
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月14日	16:00	独 GDP(前期比)・速報	4Q 0.0%	0.1%
	19:00	欧 GDP(前期比/前年比)・速報	4Q 0.1%/0.9%	0.1%/1.0%
	22:30	米 小売売上高速報(前月比)	1月 0.3%	0.3%
	23:15	米 鉱工業生産(前月比)	1月 -0.3%	-0.2%
2月15日	0:00	米 ミシガン大学消費者マインド・速報	2月 100.9	99.5

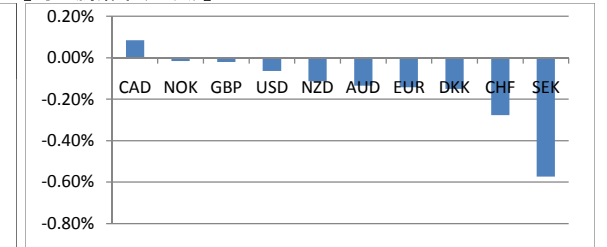
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月17日	8:50	日 GDP(前期比)・速報	4Q -3.8%	1.8%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】 ドル/円は110円が重しとなるが…新型コロナウイルスへの過剰な警戒薄れる

新型コロナウイルスの感染者数は世界で7万人を目前とし、終息時期はまだ見えないが、ダウ工業株30種平均の12日終値は2万9551ドルと過去最高値を更新し、株式相場が崩れる様子は伺えない。警戒感が強まっていた1月末と比べると、1300ドル近く上昇。一方で、債券市場にも買いが再び入った。2月初旬の1.50%に対し上空を推移しているが、入札を無難に通過しながら、米10年債は1.64%から1.585%付近迄低下。株買いと債券買いの同時進行の背景には、新型肺炎で景気減速を予想するも、金融緩和が株式相場を支え、金利低下するとの思惑からだらう。ドル/円も一時108円台半ば迄売られるが、株式相場の落ち着きと共に110円台迄上昇(12日の高値:110.15)。ただ、110円台での売り意欲の強まりや、コロナウイルスを巡る懸念に圧迫され、滞空時間は短く、109.77円で通過。

本日は米国休日で薄商いの中、方向感に欠ける展開を予想するが、今週のドル/円相場は引き続き110円台を伺う展開が継続か。特に足許、日本国内でも感染者が確認されるも109円台後半で小幅な推移で悲壮感はない。過剰な警戒が薄れる中、悪いニュースには目を瞑り、買い材料のみに反応気味なことから、好材料が出れば一時的に直近高値(1月17日:110.30)を更新する可能性は十分あると考えており、売りの水準目途にしたい。(大庭)

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	関	光石	山岸	田坂	尾身	上野
ブル	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ブル	ベア	ブル
岡本	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	谷舗
ブル	ブル	ベア	ベア	ベア	ブル	ベア	ブル	ブル	ブル

ブル	ベア
11	9